

令和4年度
第59回 道徳教育研究会
〔埼玉県オンライン会場〕

主催 公益財団法人モラロジー道徳教育財団
〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
運営 埼玉県モラロジー協議会
〒332-0034 埼玉県川口市並木2-1-11石井ビル303
TEL 048-452-8277 FAX 048-452-8278

後援
文部科学省
埼玉県教育委員会
東松山市教育委員会

道徳教育の新たな充実をめざして

道徳教育は、未来を担う子供たちにとって大きな役割を果たしていく普遍的で中核的な人間教育の基盤です。

埼玉県会場では「道徳教育の大切さ・喜びを味う」を研究主題に掲げて、子供たちのより良い生き方を求め、道徳教育を基盤とした学校づくりをめざして、皆様と共に考え、共に語り合う研究会を運営してまいります。

校長先生を始め、多くの先生方のお申し込みをお待ちしております。

記

- 開催目的 : 道徳教育を柱とする研究を通じて、学校・家庭・地域などにおける心の教育の充実と発展に寄与する。
- 期 日 : 令和4年8月2日(火) 13:00~17:00
- 定 員 : 100名
- 参加費 : 無料
- 参加対象者 : 幼稚園、小・中学校、高等学校の教職員、教育委員会関係者、教育に関心のある方。
- 申し込み方法 : ご案内した各モラロジー事務所担当者か、埼玉県モラロジー協議会事務局へお申し込み下さい。
- 申し込み締切 : 令和4年7月20日(水)
- 申し込み問合せ先 : ・埼玉県モラロジー協議会事務局 (日・月曜日休み)
TEL 048-452-8277 FAX 048-452-8278
メール: kksaitama1011@gmail.com

※申込書にご記入頂いた個人情報は、今回の研究会のために利用しそれ以外では利用しません。

第59回 道徳教育研究会参加申込書(埼玉会場)

フリガナ		性別	年代	参加回数
氏名		男・女	歳代	初・回目
住所	〒			
TEL		FAX		
メールアドレス	※明確にご記入ください			
勤務先又は所属機関名	元現	職名		

第59回 道德教育研究会 埼玉県オンライン会場：日程表

令和4年8月2日（火）

12:30	配信接続受付	
13:00	開 会	開会挨拶
13:10 14:10	講 義 I	「実学に迫る為の授業改革と心技体」 モラロジー道德教育財団 特任教授 大久保 俊輝 麗澤大学教職センター長 特任教授
14:10	休 憩	(15分)
14:25 15:25	講 義 II	「人を育む」 米屋(よねや)株式会社 相談役 諸岡 靖彦
15:25	休 憩	(15分)
15:40 16:50	体 験 発 表 と 質 疑	「特別の教科道德の多様な指導方法の実践について」 東松山市教育委員会学校教育課 三浦 祐司
16:50	閉 会	閉会挨拶

大久保俊輝 講師

今、道德は大変革の時をむかえています。すなわち観念論からの脱却です。説教されるような道德では現実の諸課題を解決する行動には結びつかないのです。道德の授業とは、待ったなしの学校現場において、感動を呼び起こし、実践を促す、すなわち「実学」として高く評価されるべきものなのです。結果として、いじめが激減し道德の有益性が強く認知される必要があるのです。その為に知悉な実践ながらも授業における構え方を紹介しながら「心の置き所」「技のタイミング」そして「体の捌き方」などを、参加者の皆様と共有できたら幸甚です。

諸岡靖彦 講師

コロナ禍は教育の現場から人の触れ合いを奪いました。いつも教育の現場には師弟の触れ合いがあり、師弟間の切磋琢磨がありました。オンライン授業では知識は伝えられても、師弟同士の刺激や共感はありません。大きな時代の転換期を迎えた今、人を育むことが一番の課題です。日本の進路すら見当たらない今、教育現場から人を育むには何が大切か！ご一緒に考えましょう！

三浦祐司 講師

私が中学校教諭として模索しながら実践してきた内容について発表することを通して、これまでの指導方法について見直し、改めて、道德科の可能性について考えて行けたらと考えています。お役に立てるかどうかわかりませんが、少しでも参考になれば幸いです。